



第35回日本呼吸器外科学会総会・学術集会 モーニングセミナー

日時 2018年5月17日(木) 8:00~8:50

会場 第7会場(幕張メッセ 国際会議場 中会議室304)
〒261-8550 千葉県美浜区中瀬2-1

間質性肺炎合併肺がん治療の エビデンスとプラクティス: 目の前の患者さんにどう向き合う?

座長 **吉野 一郎** 先生

千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学 教授

演題1 **内科の立場から**

演者 **岸 一馬** 先生

虎の門病院 呼吸器センター内科 部長

演題2 **外科の立場から**

演者 **坂入 祐一** 先生

千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学 助教

間質性肺炎合併肺がん治療の エビデンスとプラクティス： 目の前の患者さんにどう向き合う？

座長 **吉野 一郎** 先生 千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学 教授

演者 **岸 一馬** 先生 虎の門病院 呼吸器センター内科 部長

坂入 祐一 先生 千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学 助教

現在肺がんの治療では、間質性肺炎合併例が往々にして大きな問題となっている。

臨床現場の実情を踏まえて、虎の門病院の岸 一馬先生からは、昨年10月に刊行された「間質性肺炎合併肺がんに関するステートメント」を中心に内科的治療の現状と今後について、千葉大学の坂入 祐一先生には、外科の立場から術後の急性増悪の予防と管理について、それぞれ最新の知見をご講演いただく予定である。